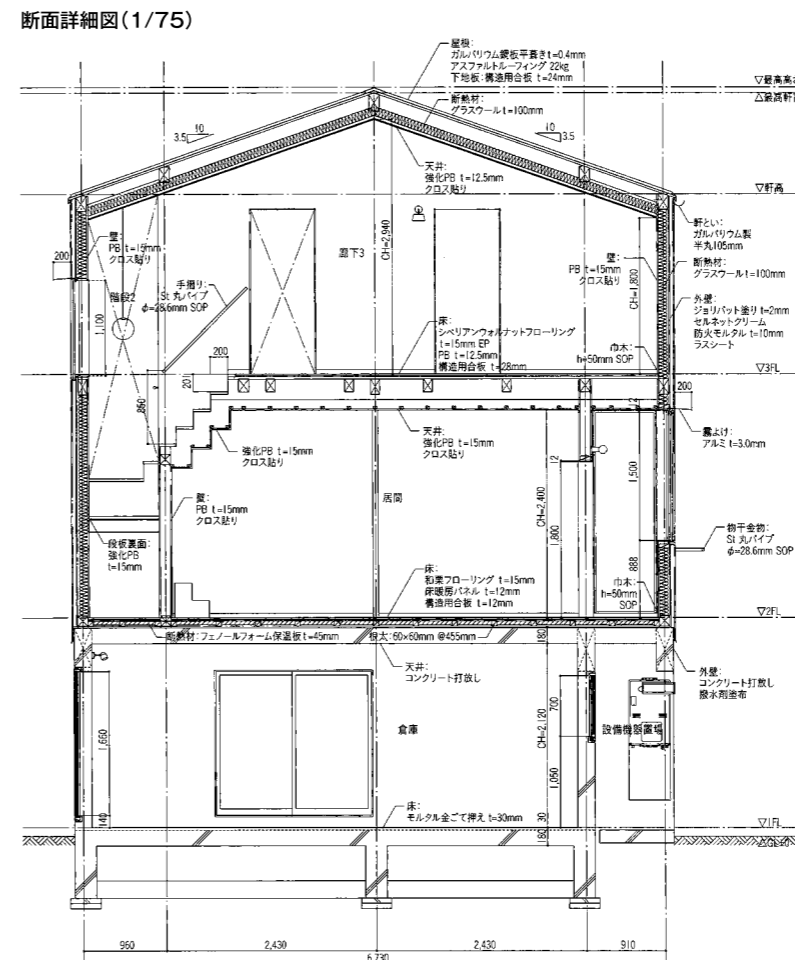
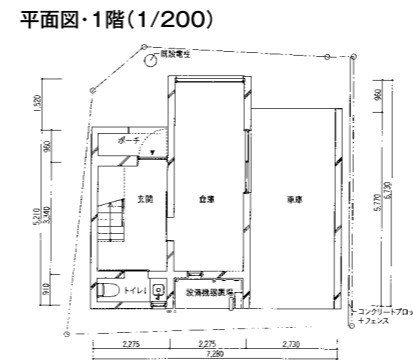
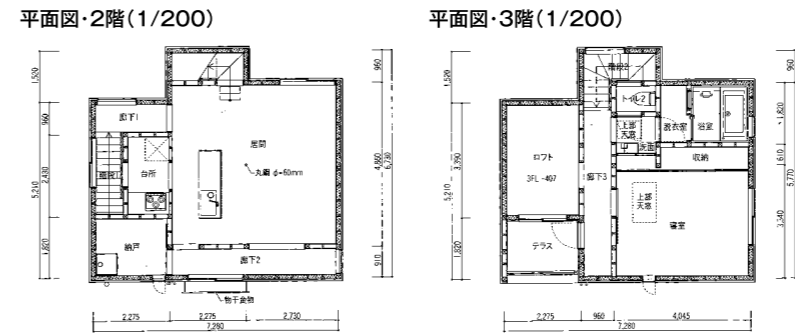


勾配屋根がつくる豊かな日常：混構造の都市型住宅

所在地：東京都世田谷区
 設計：総合：参十市原忍建築設計事務所
 構造：藤尾建築構造設計事務所
 施工：泰進建設
 構造／規模：壁式鉄筋コンクリート造 木造軸組構法/3階建
 面積：(敷地) 66.12㎡
 (1階) 39.57㎡
 (2階) 42.92㎡
 (3階) 38.78㎡
 (延床) 121.22㎡
 竣工：2009年10月

屋根の構成：ガルバリウム鋼板t0.4
 アスファルトルーフィング22kg
 構造用合板t24
 グラスウールt100
 天井の構成：強化PBT12.5の上ビニルクロス



住宅について

RC造と木造の混構造による3階建ての都市型住宅である。
 上へいくにしたがいプライバシーの度合いが高まる階の構成とした。この家ができることで、街に楽しい出来事や新しい関係がつけられることを目指して設計に取り組んだ。
 部屋の周囲に廊下や階段を巡らせることで、街と室内に適度な距離感をつくり、廊下や階段の要所に窓を設けることによって、街と室内を緩やかに繋ぐ。窓を通じて表出されるこの家の生活の断片は、街に新しい表情を与え、廊下や階段を介して室内へと取り込まれる光が、日々の生活を穏やかなものにする。

屋根と合板について

この家の周囲の景色は、比較的小さな家や庭、道によってつくられている。それらのスケールと調和を図るために、外観のボリュームを3つに分節したうえで屋根の形状を切妻とした。
 法的な制約(高さ制限と斜線制限)から室内に十分な天井高さを確保することが困難であったため、屋根の構造は、水平ばりと小屋束をなくし、登りばりと構造用合板による形式とした。この小屋束によって実現した勾配天井は、ロフトや寝室に親密な雰囲気を与えている。また3階の廊下は、この家の屋根形状が最も直截的にあらわれた印象的な空間である。

